



南武橋上流左岸の流跡痕



日野地区復旧状況 床止め（河川ネット）再利用。



百軒樋流跡痕 人が立っている付近まで流れた



百軒樋 下流高水敷を流れていた



宝塚SA侵入道路・切畑線拡幅。僧川改修工事



武田尾嵩上げ工事

12月10日夕方～昼過ぎに掛け有野77mm、母子96mm、三田50mmの降雨。武田尾で最高水位1.98mの水防団待機水位に達した。甲武橋1.48m。この程度の出水は平常範囲だが、復旧工事と改修工事が一斉に始まり工事への影響が心配された。南武橋付近は高水敷まで流跡痕があった。武庫川新橋付近は高水敷まで水が流れた跡があり、百軒樋取水口水路を越えて水が流れ、低水護岸復旧し表土流出箇所が一応埋め戻されていたが、元に戻ってしまった。12日午後になっても取水路付近の石畳を水が流れ水路から溢れた水が高水敷を洗っていた。新名神宝塚SA工事と切畑線拡幅工事や僧川復旧工事が同時並行で行われ出水や土砂流出が心配されたが、僧川合流点での土砂流出痕はなかった。復旧した武田尾護岸は嵩上げ工事のためか復旧前と同じようになっていた。